

こんな活動です

# 子どもたちに朝食を！「しらすぎキッチン」

～地域ぐるみでゲーム依存を予防し、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣づくり～

香川県高松市		●活動名 鶴尾校区学校運営協議会			●関係する学校名 高松市立鶴尾小学校 高松市立鶴尾中学校		
協働活動開始年度	令和元年度	学校運営協議会	指定・設置日 令和3年4月1日設置予定	地域学校協働本部	無		
活動区分	学校支援活動		地域課題解決学習	—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 —		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 3人			
ボランティアの数	延べ登録人数 35人	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無		
参考URL	<a href="http://www.edu-tens.net/syoHP/turuoHP/">http://www.edu-tens.net/syoHP/turuoHP/</a>						
●連絡先	高松市立鶴尾小学校		☎ 087-867-2564				



●活動の概要・経緯  
本校区は高松市の中心市街地に位置しており広い校区にも関わらず、近年大きく児童生徒数が減少している。その背景としては、地域産業の衰退や公営団地の老朽化、生活スタイルの変化等があるが、近隣校区と比較しても大きな減少幅からは、複雑な地域事情を抱えていると言わざるを得ない。そのような背景の下、1小学校・1中学校に加え、家庭、地域、幼保、文化センター等までが一体となって、魅力ある校区を作ろうと設立されたのが、「鶴尾校区学校運営協議会」である。  
本協議会では、中学校卒業時の子どもたちの姿を「15の春」という目標値として共有し、実践を重ねてきているが、校区審議会での議論を経て2021年3月には中学校が閉校し、小学生進学先として近隣4中学校からの選択制が採り入れられた。以後は小学校がコミュニティと文化の中心となり、地域学校協働活動の役割を大きく担っていくことが期待されている。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

子どもたちに朝食を！「しらすぎキッチン」～地域ぐるみでゲーム依存を予防し、「早寝・早起き・朝ごはん」の生活習慣づくり～  
学校運営協議会では、進学先中学校を選択していく小学生の課題として学力低下が話題にされていた。そこで、その原因の一つとして生活習慣の乱れが取り上げられ、地域全体でこの問題の解決にあたらうと、毎日朝食をとることを目的とした「子ども食堂」を実施することとした。2019年10月に第1回を実施し、コミュニティ協議会等とも連携しながら関係団体から食材の提供を受ける等して、月2回開催している。年度末までに計8回実施し(その後は感染症不安の為中断)、全校児童の半数以上が参加している。子どもたちの早起き効果にとどまらず、地域での子育てという観点で、各種団体や保護者が意識を共有できるようになってきている。

### 【実施に当たっての工夫】

地域社会内の貧困家庭への課題対応と考えられることの多いいわゆる「子ども食堂」を、生活習慣の改善という視点から、全校児童を対象として実践するという、発想の転換を行った。そのためには、教育課程開始前の早朝の学校内施設を利用した。運営にあたっては、地域、保護者、教職員等、趣旨に賛同いただける方の募集を広く呼びかけ、毎回30人を超えるスタッフで開設できている。

### 【関係機関・団体等との連携状況】

開設準備にあたり、高松市保健所、高松市子育て支援課、高松市教育委員会、高松市社会福祉協議会等、行政各部署より指導をいただいた。運営にあたっては、コミュニティ協議会の「にぎわい創出事業」と連携することで、地域で栽培された野菜を食材として提供してもらっている。さらに、日赤奉仕団をはじめ個人有志からも寄付をいただき運営資金に充てている。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

### 【5回の「しらすぎキッチン」を実施しての保護者アンケート結果から】—生活習慣改善のきっかけとなっている—

回答家庭の52%が「しらすぎキッチン」のある日は、朝早く起きていると回答した。82%が朝食のことを家庭の話題とした。  
(以下自由記述回答) ・ 友だちとの朝食を楽しみに早起きをしている。 ・ 友だちと楽しそうに朝食を食べている姿を見て、よい一日のスタートが切れそうだった。 ・ 早起きのきっかけづくりになっている。 ・ 家でも朝食を食べて小学校に行けるようになったらいいと思った。 ・ これを機会に朝食を作る方にも参加してみたい。

### 【学級担任の報告から】—遅刻児童が減少している・学習への集中力が維持している—

## ●その他

